



Title	長崎医学の百年, 第八章 長崎医学専門学校, 第五節 大学令の公布
Author(s)	長崎大学医学部; 中西, 啓
Citation	長崎医学百年史, 1961, pp. 717-721
Issue Date	1961-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10069/6652
Right	Copyright(c) 1961 by Nagasaki University School of Medicine

This document is downloaded at: 2020-10-28T17:55:52Z

第五節 大学令の公布

明治三年二月、大学則の制定以来、誠に目まぐるしい学制改革と政治的変遷の後、明治十年四月十二日、東京大学が成立し、明治十九年三月二日、帝国大学令の公布によって、大学の制度が確立したが、更に京都帝国大学の設立があり、単科大学の設立をみて、大学は次第に再編成を要するようになった。

高等教育機関拡充に当って、大正四年七月十四日、東北帝国大学に医科大学の設置があり、大正七年三月三十日、勅令を以て北海道帝国大学が設置された。これらの統制法として、大正七年十二月六日に大学令の公布をみるのであるが、この大学令の公布前後の衛生行政と長崎医学専門学校の略史を眺めることにしよう。

大正六年（一九一七年）の衛生行政は六月三十日、精神病者の全国調査を行い、七月二十日、軍事救護法を公布し、八月十四日には製薬阿片売下に関する件の制定が

なされた。又、八月には内務省地方局に救護課が新設され、十月三十日には軍事救護法施行令が公布され、第一次世界大戦の余燼が残されていた。

さて、本校ではこの年三月、本校規則を改正したが、その重なるものは、第一章第二条薬学科課程表中、裁判化学、理論を第三学年より第二学年に、又、機械学大意を第二学年より第一学年に繰下げ、薬品工業学の実習は第二学年・第三学年の不定時を各三時間とし、第五章第一条医学科第二学年の実地試験点数に学年試験における生理学及び薬物学の得点を加え、薬学科第二学年の実地試験点数に学年試験における化学の得点を加うることにし、第六章第一条卒業受験料を医薬学科とも八円に改正した。外国人特別入学規程細則第二条の修了証書を卒業証書と改正し、他に字句の改正を行った。

五月十日、校長田代正は願に依り本官を免ぜられ、本

第五節 大学令の公布

校教授医学博士村上安藏は校長事務取扱を命ぜられた。

十月二十一日、皇后陛下、皇太子殿下の御真影を下賜され、同月二十四日、奉戴式を行った。十二月八日、村上

安藏の校長事務取扱は願に依り、本官を免ぜられ、同日、医学博士尾中守三は教授及び校長事務取扱を命ぜられた。

大正七年（一九一八年）九月二十九日、わが国最初の政党内閣たる原敬内閣が成立したが、衛生行政としては三月に罹災救助基金法改正、六月二十四日に救済事業調査会官制の公布があつて、社会保障制度の前衛的諸法の成立をみるに至つた。そしてこの原内閣によつて、十二月六日、大学令が公布されたのである。これによつて、大学は帝国大学の外に官立は勿論、公立、私立のものをも認めたのである。

普通教育の普及と共に、高等諸学校の入学志願者は年増加し、既設高等学校ではその収容が困難となり、大学令の公布と同時に高等学校令の公布を行ったのであるが、こうした高等教育機関の拡張に従つて、教育上の無理を避けようとしたのである。大学令では、大学は国家

に須要な學術の理論及び応用を教授し、その蘊奥を攻究する目的を持ち、兼ねて人格の陶冶、国家思想の涵養に留意すべきものとした。

本校ではこの年一月八日、文部省令第一号により、国立医学専門学校規定の改正に伴ない、医学科課程中、小児科を内科より分離し、独立学科目とした。五月、本校規則中、実習料徴収に関する条項（第七条）を加えた。

七月、文部省の科学研究奨励費千円の附与を受けて、本校教授林郁彦、磯部喜右衛門、菅沼清次郎、大西進の四氏はフィラリア病研究のため、八月にかけて五島を調査した。

九月二十五日、本校規則第一章第二条中、医学科課程表及び第五章実地試験科目中、産科学婦人科学を産科及び婦人科学とし、皮膚病学、微生物学を皮膚病学及び花柳病学と改正した。

このように次第に各専門科目の分立が行われたのであるが、前記大学令の公布によつて、各地の医学専門学校の大学昇格が問題となつて来た。明治四十三年十二月二

十一日に設置された福岡医科大学は大正八年二月の法令によって、九州帝国大学となり、医学部、工学部、農学部が設置されたのであるが、北海道大学も大正八年二月の法令によって、農学部、医学部となった。

大正八年(一九一九年)一月十八日、第一次世界大戦が終焉し、パリ講和会議が開会されたが、六月二十八日には、日本も国際連盟条約に加入した。一方、衛生行政としては、三月二十五日、精神病院法の公布があり、二十七日には結核予防法及びトラホーム予防法を公布し、四月十日、医師法第三次改正や医師会の強制設立等の規定がなされた。八月二十九日、学校伝染病予防規程を定め、九月二十五日、医師会令の公布があり、医師法施行規則の一部改正をみ、十月十日には第一回国際労働会議がワシントンで開かれ、わが国からも参加した。十月十九日、文部省は児童生徒及び学生の近視眼予防に関する注意を發表した。この他、同月二十三日には結核予防法施行令の公布や結核予防法施行規則の制定があり、各関係地方庁は勿論、長崎医学専門学校にもこうした趣旨が示され、

医専の内容の進歩と共に多くの問題が解決することとなったのである。

次に本校の変遷をみることにしよう。大正八年四月二十二日、本校規則第六章第一条中、授業料の額を改正した。

十二月二十四日、校長事務取扱医学博士尾中守三は校長に任せられた。

大正九年(一九二〇年)三月二十三日、警部補・巡查・消防手共済組合に関する法規が制定され、五月一日、わが国最初のメーデーが行われた。八月一日、農商務省工務課に労働課の新設をみ、八月、内務省に社会局が新設されて、社会主義的問題に対処する政治機構が整えられた。又、九月には国立栄養研究所の設置があり、十月一日には第一回国勢調査が行われ、日本の人口動態を調査する基礎資料が作られることとなった。十二月六日にはモルヒネ、コカインの取締について定めるところがあった。十九日、第四改正日本薬局方の制定があつて、衛生行政、薬事行政ともに大きな進展を示している。

第五節 大学令の公布

本校では三月二十五日、本校規則第三章第六章及び第八章中の一部が改正され、四月十六日、校長尾中守三が卒去したが、これは当時、世界各地に流行した所謂スペイン風邪（流行性感冒）の罹患によるもので、当時の教授・生徒等も多くこれに感染した。

同日、本校教授医学博士国友鼎は、校長事務取扱を命ぜられた。

八月十二日、国友鼎は校長事務取扱を免ぜられ、医学博士山田基は、本校々長兼教授に任ぜられた。

同月十七日、勅令第二百五十七号を以て、高等官々等俸給令、同勅令第二百五十八号を以て、判任官俸給令中の改正をみ、同月二十五日、直轄学校長職務規程中、改正される場所があった。

この年、文部省は医学専門学校の昇格に関し、通牒を發し、「全国ニ於ケル大学配置ノ地理的關係ヨリ新潟及び岡山ヲ先ヅ十一年度ニ選ビ」「千葉金沢長崎ノ三校ハ夫々既設医科大学近キヲ以テ十二年度ニ延期セリ」という理由で、官立医学専門学校を引直して医科大学となる

は確定の事実であるが、大学として授業を開始する順序が定められた。

なお、十月二十三日、第二十五回九州医学会が長崎で開かれ、第一日は市内袋町青年会館において行われ、その第二日は本校において分科会が開かれた。

大正十年（一九二一年）一月、社会事業調査会官制が公布施行され、四月九日、黄燐燐寸製造禁止法の公布があり、六月三日、司法省官制を改正し、監獄衛生官制度を採用した。七月には衛生局の改組があり、新たに予防及び調査の二課を設け、五課となった。十月には、長崎県社会事業協会が共同募金を行って、社会問題の解決を計った。又、十一月十二日には地方庁の衛生職員制を制定したのである。十二月十日には労働保険調査会が設置されたが、この年、保健衛生調査会は民族衛生問題を討議し、癩療養所の拡張十ヶ年計画が企てられた。そしてBCGが始めてアレによって行われたのもこの年である。さて、この年、本校では、五月第二十回卒業式が挙行され、五月九日には、発専六十六号の次官通牒が發せら

れ、次の外国人及び植民地入学生取扱が達せられた。

外国人及植民地入学生取扱ニ関スル件

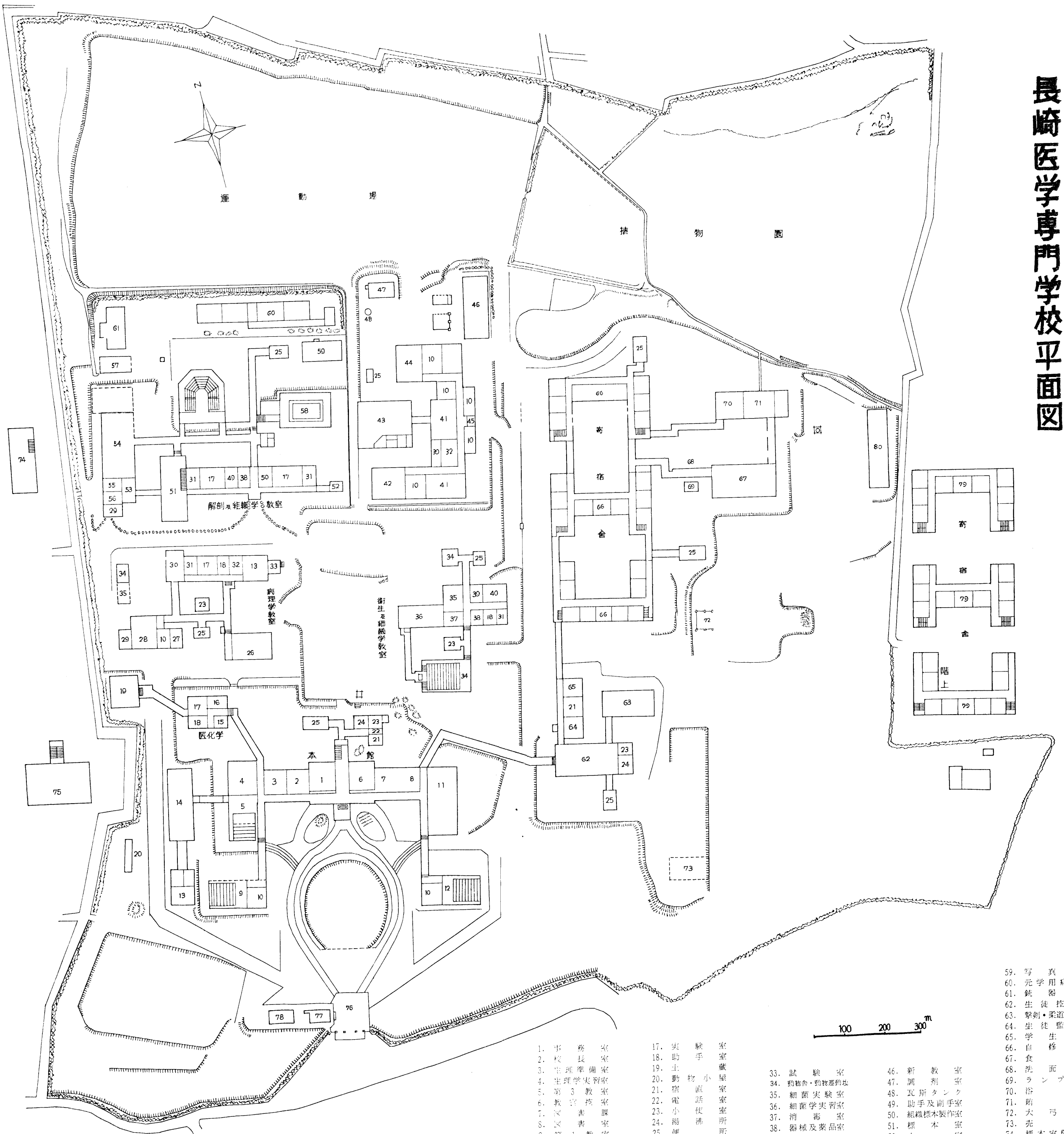
従来外国人ニシテ大学及予科、高等師範学校、女子師範学校、専門学校又ハ高等学校ニ入学シ得ヘキ規定上ノ資格（中学校又ハ高等女学校卒業、中学校卒業、中学校第四年修了若ハ之ト同等ノ学力アリト検定セラレタル者等）有セサル者此等ノ学校ニ入学セントスル場合ニ於テハ之ハ別科選科等所謂特科生トシテ入学セシムル例ナルモ外国人ニ関シテハ多少ノ特例ヲ設クル必要アリト考ヘラル、ヲ以テ今後ハ各学校ニ於テ其ノ入学資格ニ相当スル試験（例ヘハ中学校卒業ヲ入学資格トスル学校ニ於テハ中学校卒業程度ノ試験ヲ行フカ如キ）ヲ行ヒ其ノ成績優良ナル合格者ハ之ヲ正科生トシテ入学セシメ差支ナキコトニ省議決定シタルニ依リ御承知相成度

従来支那政府ノ委託ニ依リ東京高等師範学校、第一高等学校、東京高等工業学校、山口高等商業学校及千葉医学専門学校ニ於テ收容セル留學生ニ就テハ従前ノ通り取扱フモノト御承知相成度尚朝鮮人及台湾人ニ関シテハ当分ノ内本文外人ト同様ニ取扱フモノトス

十一月十二日、聖徳寺において、解剖千体祭が行われた。これは明治二十一年より同年までに千体の解屍を行つたのである。

この大正六年から十年に至る間は次に来るべき長崎医学専門学校の医科大学昇格に至る準備期間であつたとも云えよう。

長崎医学専門学校平面図



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|---------|---------|--------|---------|--------|----------|----------|----------|------------|------------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|--------|--------|-----------|------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------|------------|---------|------------|------------|------------|---------|----------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|-----------|------------|-------------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|----------|------------|-----------|-----------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 事務室 | 2. 校長室 | 3. 室長室 | 4. 生理學實習室 | 5. 第3教室 | 6. 第2教室 | 7. 図書室 | 8. 第1教室 | 9. 準備室 | 10. 第9教室 | 11. 第2教室 | 12. 第1教室 | 13. 解剖學實習室 | 14. 生理學實習室 | 15. 薬品室 | 16. 薬品室 | 17. 実験室 | 18. 動物舎 | 19. 動物運動場 | 20. 直話室 | 21. 電話室 | 22. 小湯 | 23. 便所 | 24. 理学実習室 | 25. 病理学実習室 | 26. 製薬実習室 | 27. 解剖学実習室 | 28. 標本室 | 29. 標本室 | 30. 標本室 | 31. 標本室 | 32. 薬品室 | 33. 試験室 | 34. 動物舎・動物運動場 | 35. 細菌学実習室 | 36. 消毒室 | 37. 器械及藥品室 | 38. 氷室・天秤室 | 39. 衛生学実習室 | 40. 実習室 | 41. 第7教室 | 42. 製練室 | 43. 植物園 | 44. 昇降 | 45. 昇降 | 46. 新教室 | 47. 調剤室 | 48. 瓦斯タンク | 49. 助手及副手室 | 50. 組織標本製作室 | 51. 標本室 | 52. 火災室 | 53. 標本製作室 | 54. 解剖実習室 | 55. 貯蔵室 | 56. 洗滌室 | 57. 骨洗場 | 58. 組織実習室 | 59. 写真室 | 60. 元器室 | 61. 銃器室 | 62. 生徒控室 | 63. 撃剣・柔道場 | 64. 生徒監修室 | 65. 学生自習室 | 66. 食堂 | 67. 洗面室 | 68. 浴室 | 69. 浴場 | 70. 射撃場 | 71. 弓道場 | 72. 弓道場 | 73. 大売場 | 74. 標本室 | 75. 標本室 | 76. 本館 | 77. 本館 | 78. 本館 | 79. 本館 | 80. 本館 |
|--------|--------|--------|-----------|---------|---------|--------|---------|--------|----------|----------|----------|------------|------------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|--------|--------|-----------|------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------|------------|---------|------------|------------|------------|---------|----------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|-----------|------------|-------------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|----------|------------|-----------|-----------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|

長崎医学専門学校附属医院平面图

